

月刊	107
	平成 22年 (2010.10)
発行	「お〜い」編集委員会
	品川区西大井 4-1-8
	大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000

大井第二・第三地区合同区民まつりが開催されました

目も眩むような日差しの中、7月31日(土)「大井第二・第三地区合同区民まつり」が伊藤学園校庭において開催されました。

合同区民まつりということもあり、町会・地区委員・学校PTA・児童センター等の協力で行なわれ、模擬店やゲームコーナー、イベントとたくさんの催し物があり、大勢の家族連れや子どもたちの笑い声が響いていました。

模擬店では、焼きそば・フライドポテト・ベビークラスター・焼き鳥・かき氷など14店舗が出店され、予想を上回る売れ行きでお昼過ぎには完売するお店が続出しました。

ゲームコーナーでは、趣向を凝らしたゲームやマジックバルーン、本格的な似顔絵コーナーまであり、子どもたちが夢中になって遊んでいました。



イベントコーナーでは、毎年好評のミニSLに乗ったり、吹奏楽部の演奏やダンス、大井権現太鼓を見ることができました。また、警察署と消防署の方たちにより、パトカー・白バイ・消防車の貴重な試乗体験をすることができました。

暑さきびしい中、来場者数も昨年を上回る約4,600名にのぼり、今年も大盛況に終わりました。

(区民まつり実行委員会事務局 記)

大井第三地区委員会主催「みかん狩りと砂浜あそび」のお知らせ

11月7日(日)三浦海岸・吉田農園で開催します。

おいしいみかんを食べ、砂浜でゲームを行います。中学生ボランティアを募集しますので、奮ってご参加下さい。詳細は、各町会掲示板等でお知らせします。

町会めぐり

避難誘導実験(ワークショップ)に参加して

～西大井四丁目町会～

西大井四丁目町会は、7月18日(日)午前9時より正午まで、防災訓練のひとつの避難誘導訓練として、避難誘導実験(ワークショップ)を実施しました。この訓練の対象者はお年寄りや障害のある方など、自力で避難することが難しい方々で、あらかじめ、区の調査および町会、自治会の調査などで、災害要援護者名簿に登録されている方々です。

当日は、炎天下の中、車椅子利用の要援護者1人に対して支援者3人、記録係、カメラ係、グループリーダー、先導係各1人ずつ、その他10人の総勢18人が参加しました。

全員が西大井四丁目町会会館に集合して、要援護者の自宅まで行き、ゆっくり避難ルートを歩き、安全を確認しながら、指定避難場所の伊藤小学校へと進みました。

訓練終了後は、町会会館で意見交換を行い、大井第三地域センターの田中所長より、避難訓練の必要性と区の避難命令が出た場合は、町会単位で伊藤小学校に避難することになっている等の説明をいただき、大変有意義な時間を、過ごすことができました。

日頃から、ご近所付き合いを活かした地域の助け合いがいかに大切かを、あらためて感じました。

(西大井四丁目町会会長 浅見 記)



振り込め詐欺にだまされない

息子や孫あるいは警察官、銀行協会職員などを名乗り、言葉巧みにお金を振り込ませたり、キャッシュカードの暗証番号を聞き出したりする“振り込め詐欺”の被害が増えています。

お気づきの方もいると思いますが、本紙105号、106号に「振り込め詐欺にご注意」の記事を掲載しました。被害が急増しているので本号でも続けます。

品川区地域活動課生活安全担当によると、今年上半期だけで、区内にある警察4署合計の振り込め詐欺被害は34件3,830万円で、うち26件3,278万円は60歳以上の高齢者です。昨年1年間の総被害が36件5,452万円ですから、すさまじい増え方です。

このうち大井警察管内での被害は、6件514万円(去年は1件100万円)だそうです。被害者にならないためには、慌てない、動揺しない 家族にしかわからない合言葉を決めておく 必ず本人や関係行政機関に問い合わせる 振り込む前に家族に相談する 警察に相談する・・・などが大事とされています。が、詐欺犯人は人を騙すためにあの手この手を繰り出してくるので、こちらも知恵をしぼって財産を守らなくてはなりません。

というわけで、次号からは身近に起きた事例を掲載していく予定です。

(編集委員会 記)

